



**特別支援教育の視点を踏まえた  
学校経営構築研究開発事業シンポジウム**  
**「パネルディスカッションを受けて」**  
  
**大阪大谷大学 教育学部**  
**特別支援教育実践研究センター**  
**小田 浩伸**

1


**学校における状況と課題**


インクルーシブ教育システム  
の構築と実践

学力向上への対策

学習・行動・対人関係上の支援  
(通常の学級における支援教育)

「障害者差別解消法」による  
合理的配慮の実施

「発達障害者支援法」の改正による  
個別の教育支援計画及び個別の指導に関する  
計画の作成推進、いじめの防止等のための対策  
推進等支援体制の整備

↓

不登校対策等の  
生徒指導上の課題

上記の状況から、校長自らが支援教育や障がいに関する理解を深め、校長のリーダーシップの下、教員が支援教育に関する認識を持って学級経営を行うよう指導することや、その認識を踏まえ学校経営に参画するなど、組織としての体制整備が必要となっている。

2

**特別支援教育の視点を踏まえた学校経営構築研究**

◇特別支援教育の体制整備の充実に向けて組織強化を図る。  
◇発達障がいを含む障がいのある幼児児童生徒を包括する学校経営の効果的な運営の在り方を研究する。

↓

< 研究課題 >

- ◎学校組織として取り組むためのあり方とその実践(重要性)
- ◎管理職による明確な学校経営ビジョンの提示(教育計画等)
- ◎エビデンス(根拠)に基づいた取組み(UDの観点による授業研究等)

↓ 実践のポイント ↓

管理職による  
教育方針の明示  
(授業・教職員の役割等)

支援教育COの育成・活用

学校体制・組織づくり

授業・教職員の役割等

UDLの観点での授業づくり

実態把握の充実

3

**特別支援教育の視点を踏まえた学校経営構築研究の成果**

◎校長の明確な学校経営ビジョンのもと、教育計画や年間計画の提示、教職員の役割、校内組織の強化、関係機関との連携等の充実に図っていくことが重要

◎学校全体で共通認識を持ち、組織的に取り組んでいく実践の有効性(不登校の軽減・学習効果、集団づくり)  
例えば、児童理解のアセスメントツールの開発、不登校対策、UDに基づく授業づくり: 授業スタンダード、通常の学級での学習支援、教職員へのアンケート、児童アンケートによるニーズ把握の取組の成果

↓

◇3校の実践とその成果が、大阪府全体のモデルとして共有し、実践につながっていくことが期待される。

4